

コンゴ民主共和国

Muungano Cooperative

Fully Washed Women's Coffee

ムンガノとは、スワヒリ語で【togetherness/団結】という意味です。
自然環境を守り、地域の安定化につながる、美味しく意義のあるコーヒー
をお届けします。



産地情報

国名：コンゴ民主共和国
地区：南キブ州北部
標高：1,680-2,000m
土壌：火山性土壌

商品詳細

品種：アラビカ
麻袋規格：30kg
収穫期：2月-6月
9-12月
収穫：手摘み
精製：ウォッシュド
天日乾燥

産地情報 ～コンゴ民主共和国～

豊かな自然環境

コンゴ民主共和国はアフリカ大陸の中央部、赤道直下のコンゴ川流域に広がる、アフリカ大陸で二番目に大きな面積を持つ国で、その広さは西ヨーロッパにさえ匹敵する。

コンゴ北東部、ルワンダとの国境にあるキブ湖周辺は、標高が高くコーヒー生産の中心地として知られている。コンゴにコーヒーの樹が持ち込まれた当初から長きにわたり、この土地でコーヒーが栽培されてきた。キブ湖は火山活動によってできた湖で、周辺土壌はコーヒーへ潤沢な養分を与えてくれる。

コーヒー栽培と環境

コンゴでは男性優位の文化が根強く女性の社会的な地位が非常に低い。依然としてコーヒーは「男性の作物」と認識されている。ムンガノコーヒー協同組合は、女性が大きな不平等に直面しているコンゴ民主共和国東部で男女平等を推進することに尽力している。

“ムンガノ”はスワヒリ語で「団結」を意味する。その名の通り、この協同組合はさまざまな民族の農家を結び付けている。民族間の緊張は、長く続いた情勢不安や紛争の間に高まっていたが、コーヒー生産という共通の事業に従事するために団結することで、徐々に克服されていった。

コーヒー生産者と共に…

ゼンショーは、2025年ムンガノ組合とのフェアトレードを開始。取引に含まれる社会開発資金を活用し、彼女達のコミュニティーでの更なる活躍に貢献へできるよう取り組んでいきます。

遠く離れたの地に思いを馳せながら、彼女たちの思いが詰まったコーヒーを日本の消費者の皆さまにも感じていただきたいです。



顔の見える関係

コンゴ民主共和国
～Muungano Cooperative～

Café

Think・Earth

